

暮らしに役立つ情報がいっぱいのコーナーです。行事の詳細内容は主催者にお問い合わせください。市外局番の記載がないものはすべて「0479」です。

シリーズ 高齢者の暮らしを支える



一緒に皆さんの暮らしを支えます

高齢になっても、介護が必要になっても、住み慣れた多古町で暮らしたい。第9回は、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」の紹介です。

ずっと多古で暮らす

第9回



高齢化が進む中、目指すもの

「介護や医療が必要になっても多古町でいつまでも暮らせるように」と、福祉・介護の取り組みを皆さんに知っていただくために『ずっと多古で暮らす』として連載してきました。

皆さんが最後まで自分らしく暮らせることを目指し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が切れ目なく一体的に提供できる体制を「地域包括ケアシステム」といいます。そして、地域包括ケアシステムの中核となるのが地域包括支援センターです。

地域包括支援センターとは

地域包括支援センター(以下「包括」)は、高齢者の暮らしの総合相談窓口であり、町では保健福祉センター内にあります。

地域住民の医療・保健・福祉の支援を包括的に行うため、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員

空港シャトルバス利用状況

12月 延べ 6,519人
(1日平均 210.3人)
対前年同月比 +10.8%



まちの人口

男性	7,097人	(-13)
女性	6,938人	(-13)
合計	14,035人	(-26)
世帯数	5,991世帯	(-10)
転入者数	27人	
転出者数	33人	
<small>(国外移住含む)</small>		
令和4年1月1日現在・()は前月比		

お誕生

子の名	保護者	地区
星 咲良	祐斗	大門
清水真衣華	大輔	居射
NGUYEN NGOC CHAU	NGUYEN NGOC TRONG	西谷

おくやみ

なくなった方	享年	地区
松田 剛	70	飯笹
鈴木 圭	98	坂並
宇井てい子	83	島
越川 昌平	85	十余三
吉次 英子	82	高津原
秋葉 治郎	75	堀ノ尻
大木 桃夫	87	五辻
所 勝之	76	切通
鈴木 クラ	94	本町
久蔵 みよ	92	松木
香取 とみ	90	二本松
多田 久雄	71	出沼
椎名 タカ	90	久保
川島 貢	93	堂谷

(12月受付分・敬称略)
希望されない方は掲載していません。この欄に掲載を望まない場合は届け出時に受付窓口へお申し付けください。

文化ホールからお知らせ

お問合せ●コミュニティプラザ内 生涯学習課文化係 ☎76-7811 (月曜・祝日休館)

文化ホールのステージ開放

ピアノやお持ち込みの楽器で演奏の練習ができます。
日 時●2月20日(日) ①午前9時～10時30分
②午前10時30分～正午 ③午後1時～2時30分
④午後2時30分～4時 ※一枠90分
利用料●1,500円 ※一枠5人まで
対象●小学生以上(小学生は保護者同伴)
申込方法●電話でお申し込みください。※先着順、定員になり次第締切。
[町民先行受付]2月5日(土)～ [一般受付]2月12日(土)～

お知らせ

多古中学校 PTA リサイクル活動

12月18日(土)に多古中学校 PTA リサイクル活動を実施しました。町民の皆さんのご協力により、収益金は103,678円となりました。部活動運動部費など、生徒のための活動費として有効に使わせていただきます。どうもありがとうございました。協賛企業など(順不同)「萬勢庵、高山建材(有)、(株)カクタ、(株)安藤建設、(株)安藤産業、(株)渡商、柏熊建設(株)、鎌形建設(株)」
お問合せ●多古中学校 PTA ☎76-5261

お知らせ

スポーツ少年団剣道クラブ

日時●毎週日曜・隔週木曜
【日曜】午前9時30分～11時30分
【木曜】午後6時30分～8時
会場●【日曜】中村小体育館
【木曜】中村小体育館または多古中体育館
年会費●4,300円(保険・登録料込)
※高校生以上は金額が変わります。
申込・お問合せ●木村 ☎090-4729-1578



募集

懸け橋になる誇り 予備自衛官補募集

※受験願書受付中

種目	受験資格	受付期間	試験期日
一般	18歳以上34歳未満の者		
技能	18歳以上で国家資格等を有する53歳未満、資格によっては55歳未満の者	1月6日(木)～ 4月8日(金)	4月11日(月)～ 4月17日(日) いずれか1日

お問合せ●自衛隊 千葉地方協力本部 旭地域事務所 ☎0479-62-0971

募集

令和4年度参加者募集!! 出会い・発見・感動

女性大学

役立つ生きた情報
女性のための講座



ゆうゆう塾 (旧高齢者大学)

新たな挑戦
心豊かな生活の講座

募集

詳しくは各戸配布の募集チラシをご覧ください。

お問合せ●生涯学習課社会教育係 ☎76-7811

など資格を持った職員がいます。それぞれの職種の専門性を生かし、連携して高齢者の暮らしを支援しています。実際には次のような相談をよく受けます。「夫が入院しました。退院後はどうしたらいいでしょうか」、「近所に心配な高齢者がいます」、「最近、歩くことが大変になりました」、「今まで元気だった人が食事が取れなくなっています。どうしたらいいでしょうか」など、相談内容は介護、医療、健康、生活面と多岐にわたります。

一本の電話相談から

先日、町民の方同士の支え合う気持ちを実感したことがあります。それは、包括へ入った一本の電話からでした。「いつもは元氣な人でよく会って話をするのに、最近会うことも少なくなっていて心配な人(以下Aさん)がいます」という相談でした。

その電話の後にAさん宅を訪問したところ、地域で介護予防体操などを行っているサロンに参加している方でした。包括の職員は地域のサロンにも行っており、顔なじみだったため、「あら、〇〇さん。わざわざ家まで来てくれたの」と

Aさんは安堵されたようで、今の暮らしの不安なことなどを話してくれました。電話で相談してくれた町民の方にAさんの様子を伝えようかな、という気持ちで相談してみても良かったよ」と話してくれました。このようにお互いを思う気持ちを私たちは大事にしていきたいと思っています。

お気軽にご相談ください

皆さんの地域にはどのような支え合い活動がありますか。ゴミ出しを手伝ってくれる近所の方。買い物へ一緒に行ってくれる方。元氣でいるために地域で体操などに取り組んでいる方。「元氣?」と尋ねてくれる方。

地域の方の見守りや声掛けが、町の中にはたくさんあります。町ではこのような支え合いの輪が、今後も広がっていく地域づくりを目指しています。

包括では、普段から気軽に相談していただけるような関係づくりを心掛けています。地域にどんな足運びをしますか、ぜひ声を掛けてください。

お問合せ●地域包括支援センター ☎70-6111